
少年

こはる亭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年

【コード】

N8233H

【作者名】

こはる亭

【あらすじ】

帰宅途中の少年は猫と出会った。そこにまちつけていたものとは

...

僕は、ねずみ年生まれで血液型はA型。

母さんは、僕を夫にする女の子は幸せになると いつも言っている。なんでも、ねずみ年の男は細々と良く動き、良く働くA型は綺麗好きらしい。

そう言われると当たっているかもね！

今日は、学校から帰ったら友達誘って野球をするつもりだ。

僕の学年は野球好きが揃っているの、誘えばすぐに試合が出来る。急いで帰って、自転車で行くつもりだ。

「キーン コーン カーン コーン」

「おい、帰るぞ！」

バタバタと一目散に僕達は学校の門をでた。

「明、ボール頼むぞ」

「OK！」

「ベースは誰の家にあるんだ？」

「俺の家」と健二が手をあげた。

「じゃあ、忘れるなよ！」

「OK！」

話ながら三角にきた。

「じゃあ皆、急いで来いよ！」

「ああ、わかっているぜ」

「後でな、バイバイ」

僕の家は、この道をまっすぐに行き 2本目を曲がれば直ぐだ。走りながら、僕ははんこ屋の手前で止まった。

この家には、大きな身体の女将さんと、僕の苦手なペットがいる。こいつが店先で寝ていたら、僕は遠回りをしなければ往けなくなる。

「今日も外にいないでくれ」と、心の中で祈った……。

秋の夕方、僕はお使いを母さんに頼まれた。

僕の自転車は、パンクして修理に出していたので、僕は歩いてスーパーに行った。

「卵と食パンで300円です」

「有難うございました。」

スーパーをでた僕は、まっすぐな道を空を見上げて歩いた。

はんこ屋は、水曜日が休みだ。

僕は、ふっとはんこ屋の看板の下に目が行った……。

目が光る物体が動き出した！

僕は、一瞬身体が固まって袋を手から離してしまった。

一目散で走って逃げた！

「はぁーはぁー」

「どっしたの？」

「母さん、出たんだよ！」

「何がさ！卵とパンは？」

「・・・・・・・・」

それ以来、僕はほんこ屋の前を通るのが苦手だ。

母さんは、僕がねずみ年だから怖がるのかなと不思議がる。

あの時の卵は、全滅だった！ 母さんに、こっぴどく怒られたぜ！

「あー、今日はこのまま、まっ直ぐに帰りたい！」

心の中でさげびながら ほんこ屋の看板の下を見た。

あいつは看板の下で横になっていた。

僕と目があった、ほんこ屋の看板猫・銀は「ニャー」と僕に挨拶をした。

僕は、回れ右をして 一目散で走った！「あー駄目だ！」

家は直ぐそこなのに、僕は遠回りをして帰るはめになる。

母さんは、銀は可愛い猫だと言ったけれど、僕の心の中で銀は、あの夜から化け猫に変身しているんだ！

走りながら、大公園で待っている友達の顔が浮かんだ・・・

猫が怖くて、遅くなっただなんて言えないぜ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8233h/>

少年

2010年10月19日17時52分発行